

ほんわ館だより

令和8年8月発行
第167号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 8/3.10.17.24.31

8月の展示コーナー

★おすすめコーナー
『夏を涼しく』



★児童書コーナー

・絵本コーナー 『あつ～～～い夏』
『ゾゾゾ・・・』

・円形コーナー 『UMA 妖怪』

・空中図書コーナー 『へんてこ！』

・小学生おすすめコーナー 『自由研究②』



★今月のおはなし会★

8月15日(土)11:00～11:30
場所:ほんわ館多目的室
楽しいおはなしで暑さを吹き飛ばそう!!

夏休みイベント『ほんわ館からの脱出3』

★開催期間:8月1日(土)～8月9日(日) ※8月3日(月)は休館日です

★開催時間:午前10時～午後4時

★会場:中山町立図書館 ほんわ館

★挑戦者:個人でも団体でもOK(ご家族での挑戦がおすすめ♪)



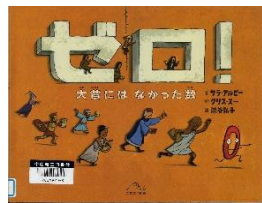
★脱出アイテムを獲得して
謎を解こう!!★



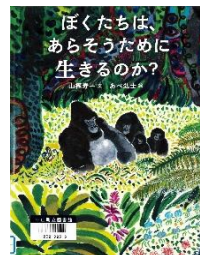
新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にも
たくさん入っています

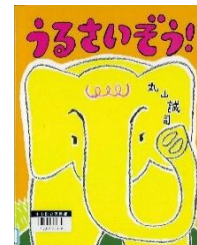
【児童書(えほん)】



◀『ゼロ! 大昔には
なかった数』
サラ アルビー // 文
クリス スー // 絵
渋谷 弘子 // 訳
光村教育図書



◀『ぼくたちは、
あらそうために
生きるのか?』
山極 寿一 // 文
あべ 弘士 // 絵
偕成社



◀『うるさいぞう!』
丸山 誠司 // 作
絵本館

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
たぶん、恋しい	一穂 ミチ // 著	NDC男子!	舟崎 泉美 // 著
御成敗式目の殺人	羽生 飛鳥 // 著	やらなくてもいい宿題2	結城 真一郎 // 著
マイボディ・オン・ザ・ムーン(上・下)	矢野 アロウ // 著	最強王キャラ図鑑	国際最強王図鑑協会 // 監修
父、吉野弘	久保田 奈々子 // 著	虫のウらがわ図鑑	高岡 昌江 // 文
二月に憂鬱な君へ	西條 奈加 // 著	(紙芝居)オバケせんせいのお婆けびょういん	多屋 光孫 // 脚本・絵
決裂	堂場 瞬一 // 著	【教養書】書名	編著者名
天保釣り合戦顛末記	土橋 章宏 // 著	プロフェッショナルズ	たなか ひかる // 著
ホルモー燦燦	万城目 学 // 著	山小屋からの手紙	山と溪谷編集部 // 編
ぞくりぞくり	黒木 あるじ他 // 著	事故物件の日本史	大塚 ひかり // [著]
夢の如くにて御座候	新名 規明 // 著	ネオ君主論	カーティス・ヤーウイン // 著
グレタ・ニンプ	綿矢 りさ // 著	自分でできる家系図の作り方	丸山 学 // 著
夏帆	村上 春樹 // 著	葵の紋を継ぎまして。	山岸 美喜 // 著
夜の恩寵	三浦 しをん // 著	ラクうま! つくりおき食堂	PHPくらしラク～る編集部
目が	背筋 // 著	四国八十八ヶ所	岸田 明 // 著



本の歳時記



一ひまわり、向日葵、ヒマワリー

暑い夏を象徴する花「ひまわり」は、中山町の花でもあります。制定の説明に「中山町の豊かな自然環境を表す『陽と水と樹』の『陽』にあてはまる花です。」とあります。ほんわ館の蔵書にも「ひまわり」が出てくる本がたくさんあり、読物や絵本だけでも70冊を超えます。前向きで明るいイメージのある「ひまわり」ですが、小説の中では「一途さ」、「夏の記憶」、「儚さ」などの象徴として描かれるものもあります。今回は、「ひまわり」をタイトルにした作品を紹介します。



『ひまわりは恋の形』

『ひまわりは恋の形』 (宇山佳佑//著 小学館)

就職試験に全滅した日向は、友人から「桜の花びらを集める」という不思議なアルバイトを紹介される。怪しいと思いつつも、そこで出会った依頼主・雫に一目ぼれしてしまう。彼女に振り向いてもらいたいと願う彼だが、あるとき、雫が一年でたった一週間しか起きていられないという不思議な体質だと知る。どれだけ逢いたくても、彼女に逢えるのは夏のほんの一週間だけ。夢と現実に引き離された、究極の遠距離恋愛の物語。この作品での向日葵は、太陽のように輝き、憧れを抱き成長し続ける花として、「愛を育むことの大切さ」と「限られた時間を精一杯生きる価値」を伝える象徴的な存在となっています。



『向日葵を手折る』

『向日葵を手折る』 (彩坂美月//著 実業之日本社)

突然、父親を亡くした小学6年生の高橋みのりは、母の田舎である山形県の山間の集落に引っ越し、同級生の怜や隼人と出会う。向日葵が象徴する自然の力強さに触れ、素朴な級友達に囲まれ少しずつ笑顔を取り戻していく中、小学校で育てていた向日葵が全て手折られるという事件が起こる。その後も、向日葵男の怖い噂や不穏な出来事が続くが事件にまでは発展せず、みのりは中学生になり成長していく。小学生から中学生へと揺れ動く少年少女の心情を細やかに描く成長物語。山形生まれの著者だけあって、山形の自然や食事の様子が瑞々しく描かれています。



『ひまわり』

『ひまわり』 (新川帆立//著 幻冬舎)

総合商社に勤務し順調にキャリアを重ねていた「朝宮ひまり」は、交通事故に巻き込まれて頸髄損傷を負い四肢麻痺となる。懸命にリハビリに励むも復職の夢は叶わず、24時間介護の必要な重度の障害者を受け入れる企業も見つからない。そんな中、友人の勧めから一念発起し弁護士の道を目指すことに。鉛筆も握れなく六法全書も開けないひまりが、「言葉」を武器に司法試験に挑むものの、次々と壁が立ちあがる。この作品は、ひまわりの花のように一途に前を向く強さが物語の象徴となっています。

ほんわ館で読まれています

『マンガでわかる浮世絵』

(山本加奈子//著内藤 正人//監修誠文堂新光社)



浮世絵の見方ががらりと変わる! 浮世絵の歴史から様々な浮世絵師、浮世絵の制作工程と絵師を支えたプロフェッショナル、海を越えたコレクターまで、浮世絵の世界をマンガで解説。浮世絵200点余を掲載。

『多類婚姻譚』

(風良ゆう//著 講談社)



どうして結婚はこんなに難しくなってしまったのだろう。セクシュアリティ/ジェンダー、金銭感覚、世代間格差、成育環境…あらゆる価値観の対立の中で現代を生きるわたしたちの祈りと叫び。

『タイム・アフター・タイム』

(吉田修一//著 幻冬舎)



建設会社に勤める尾崎颯。同じプロジェクトの担当者として高校の同級生だった久遠愛と再会するが、建築家のデザイン盗用疑惑によって計画は暗転。さらに尾崎の家庭にはスキャンダルが…。

『ファイア・ドーム (上・下)』

(辻村深月//著 小学館)



25年前、平穏だったはずの地方都市は、百貨店受付嬢誘拐殺人事件の発生、その報道により揺り動かされ、「噂」という大量の炎が、加害者のみならず被害者にも降り注ぎ…。